

土浦市総合防災訓練が行われました。

10月22日(土)、地域住民参加型とした3会場同時進行の土浦市総合防災訓練が行われました。サブ会場の1つである土浦市立第六中学校体育館において、南部ブロック17地区の代表が集まりました。烏山町内会からは、会長、副会長、防災・防犯理事が参加し、避難所運営に必要なとされる防災機器の取り扱いについて体験しました。

【想定】

10月22日午前8時00分ごろ、茨城県南部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生した。土浦市は震度6強となり、市内各地で家屋の倒壊、電力・通信設備の被害が生じた。建築物に被害が多く、負傷者も多数出ている。土浦市は災害防災本部を設置し、各地区に避難所を開設、住民と協力し応急対策を図ることになった。

【訓練内容】

- シェイクアウト訓練（地震の際の安全確保行動…まず低く、頭を守り、動かない）
 - ・まず低く…大きな揺れで自分が倒れてしまわないように、まずはその場で低い姿勢を取る。屋外では、崩れる危険があるブロック塀や電柱から離れてから安全行動を行う。
 - ・頭を守り…頭を保護し、丈夫な机やテーブルの下などの安全な場所に避難する。机など隠れる場所がない場合は、カバンなど、身近なもので頭を守る。
 - ・動かない…姿勢を低くして頭を守った状態で、揺れが収まるまで動かないようにする。

- テント・ベッド設置（ダンボールベッド…1tの重さに耐えられる）
- 簡易トイレ
- 発電機取り扱い
- 応急処置・担架搬送要領
- 初期消火体験 などをローテーションしながら体験・実践しました。



【感想】

いざという時には体験が役立ちます。
機会があったら、多くの方々（特に高齢でない方）の参加をお勧めします。



ダンボールベッド



簡易トイレ